

令和5年度

福井中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 生徒自らの言葉で説明する表現力の育成
- 基礎学力定着のための家庭学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 教務	委員	校長 事務室長 2年主任	教 頭 1年主任 3年主任
	校長		

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や校内研修等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた学習環境のなか、前向きに学習に取り組む生徒が多く、与えられた課題をまじめにこなそうとする。 ●授業への集中力が十分でなかったり作業の取りかかりに時間がかかったりする。基礎学力の定着に差が見られ、家庭学習時間がやや不足している。	①授業で学習した基礎的・基本的な内容を確実に身に付けることができる。 ②家庭学習の時間や内容を充実させることによって、基礎基本の定着を図ることができる。	①小規模校の特性を生かし、複数教員による個に応じたきめ細かい指導に努める。 ②自主勉強ノートの使い方等を指導し、優秀作品を表彰するとともに、掲示して紹介する。	生徒の実態を受けて、「家庭学習の手引き」の見直しを図る。	①主に数学・英語の授業において、複数教員による指導を実施し、個に応じた対策をとることができた。 ②生徒の実態を受けて「家庭学習の手引き」を見直した。また、自主勉強ノートの優秀作品をデジタルサイネージ等で掲示することで手本を示した。	与えられた課題以上の自主的な家庭学習が少ないので、ミライシードリルパーク等を活用しながら、生活習慣の見直しと家庭学習時間の量を増やす取り組みの工夫が必要である。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や集会などで、自分の思ったことを文章で表現し、伝えることが比較的抵抗なくできている。 ●多くの生徒が人前で発表することを不得意としている。自分の考えを筋道を立てて説明したり、既習事項を活用して考えをまとめたりすることに課題がある。	①自分の思いや考えを、理由や根拠を示して発表することができる。 ②読書・新聞・タブレット等を通して、世の中の出来事に関心を持ち、表現の仕方や工夫を自分の表現に生かすことができる。	①すべての教科で、言語活動を意識した授業を工夫し、研究授業やオープンスクール等で授業力を高める。 ②全校読書や定期的な全校読み聞かせを実施し、読書習慣の定着を図る。	引き続き、すべての教科で言語活動を意識した授業を工夫し、研究授業等で授業力を高める。	①オープンクラスや道徳の研究授業等の教員の授業参観で、発問の仕方やタブレットの効果的な活用法を研修した。 ②全校読書や全校読み聞かせで、全校生徒が場所と時間を共有することで、読書環境を整えることができた。	読書習慣の定着を図るために、生徒への図書の見直し等を通して、より本に関心を持つことができるような工夫が必要である。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○素直であり、与えられた課題に対して、一生懸命取り組むことができる。また、宿題等の提出率もよい。 ●与えられた課題の他の学習に主体的に取り組もうとする態度や、自ら課題を見つけて疑問に思ったことについて追究しようとする意欲が、やや乏しい。	①学習課題を自ら設定し、主体的に活動に取り組むことができる。 ②振り返りを自分の言葉で書いたり発表したりすることができる。	①生徒が主体的に行動できるような体験活動などの機会を多く取り入れる。 ②単元ごとの振り返りの時間の確保と、タブレットに記録を残すことにより、学習への主体性を高める。	引き続き、すべての教科で振り返りを行い、その記録を蓄積する。	①生徒が主体的に体験できる行事や地域の特産を生かした総合学習、各種出前授業等を実施することができた。 ②教科の特性を生かしながら「振り返り」を実施することができ、生徒理解や授業改善につながった。	生徒のより充実した体験活動への取り組みのために、出前授業等を精選した計画が必要である。

令和5年度 学力向上ロードマップ

